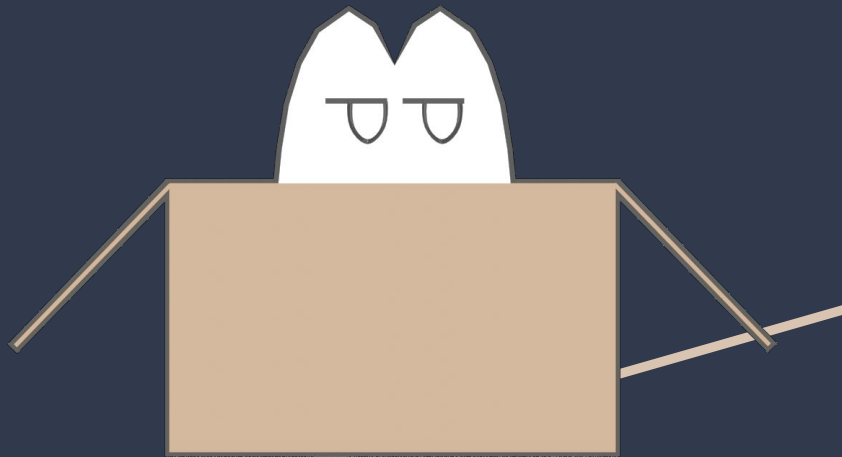


『Kipcha』で学んだ 個人開発のTips

話者: にに！



Who am I ?



名前: にに !

VRChat歴: 9か月 (2024/09/22 ~)

趣味: 音楽製作、3Dモデリング

興味: 音声系の信号処理、広くバックエンド

好きなもの: 宮崎駿のジブリ作品、J-POP

経歴: 経営・マーケティングを大学で専攻

開発経験は2年半ほど

『Kipcha』とは...？



📌 出発点

VRChatの包括的なコンテンツ検索/管理を目指し、
開発し始めたサービス

✨ 特徴

マルチプラットフォームなコンテンツ管理システム

Windowsアプリ、iOS/Androidアプリ、BEサーバーから構成

① アルバム機能

- ・撮影した写真をアプリに自動転送
- ・同じインスタンスにいるフレンドへの写真自動共有
- ・写真内のQRコード先へ遷移

② イベント機能

- ・イベント検索
- ・複数人でのイベント管理
- ・当日開催のお気に入りイベントを集計し、自動通知

本LTの 目標と想定対象者



目標

個人開発をはじめるきっかけ作り

より良い※プロダクトを作れるようになること



想定対象者

- ・プロダクト製作に興味がある人
- ・プロダクト製作をしている人



注意

- ・本LT内の断定表現は私個人の主張の場合あり

※プロダクトが「良い」ということを、次のように定義する
共通の課題を持つユーザーに広く届き、ユーザーが小さな負担で課題を解決できること

技術の話は一切しません！！！！
商品開発・マーケティング 的な話中心です！

ただ、個人ができる範囲で難易度が高くなりすぎないことを意識しました

(※私が思う)NG例

- ・「何か作りたい」「個人開発したい」からスタートする
- ・身につけた技術をもとに「作れるものは何か」からスタートする

個人開発の進め方

Step1. 課題の発見

Step2. 設計 & 技術選定

Step3. 開発

Step4. プロモーション

Step5. FB回収 & 修正

Step1. 課題の発見

🔍 解決したい課題の探し方

1. ユーザーと同じ視点もしくは共感できる視点に立ち、困っている事を探す
2. 「困りごと」から「課題」を特定

 デザイン思考

ただし！「困りごと」≠「課題」 顧客が欲しいのはドリルかドリルの穴か？

困りごとが『VRChatの写真をスマホに移すの面倒』であるケース

困りごとを「なぜ?」「どういうこと?」でブレイクダウンする

VRChatの写真をスマホに移すの面倒

何がしたい?

朝の通勤通学中に昨日フレンドと遊んだ写真を見返したい

何がしたい?

一緒に遊んだフレンドに共有したい

何がしたい?

最近遊んで楽しかった写真や面白かった写真を X にポストしたい

なぜポストしたい?

近況を発信したいため

なぜポストしたい?

遊んだ思い出を
後で振り返りたいため

何がしたい?

最近撮ったおはツイ用の写真を朝の隙間時間にポストしたい

なぜ面倒?

Discord にピックアップした写真を投げる必要があるため面倒

なぜ面倒?

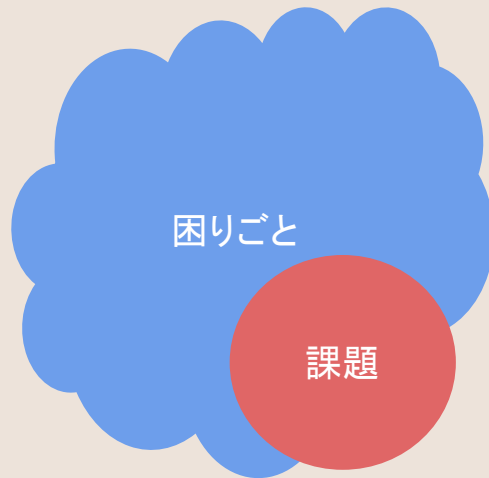
VRChat を遊び終わった深夜か朝に
PC で作業する負担が大きい

困りごとは『VRChatの写真をスマホに移すの面倒』だったが、
課題は『前日撮った写真をスマホに移す時間や負担が大きいこと』という仮説が立てられる



課題を明確にすると、無駄な開発が少なくなる

- ・開発スピードの向上
- ・技術的障壁の低下
- ・追加改修の発生抑制



✕これがあったら便利そう、は課題の発見ではない

ex.)

「スタッフやキャストをしたい人とイベント主催者のマッチングサービスがあれば便利そう！」

本当に便利か ... ?

以下のような実態だった場合、便利そうに見えたマッチングサービスは現状の課題に即していない！

- ・スタッフ、キャストをしたい人 >>> 主催が求めている人数
- ・主催の求めている人材はワールド制作や音響、ロゴポスター製作など技能のある人材である



「便利そう！」と思ったのなら今は何が不便なのかから **課題を明確に**しよう

Step2. 設計 & 技術選定

プロダクトのタイプを分類

① プロダクトが一人のユーザー内で完結する

ex.) 改変便利ツール、作業用ツール、個人の資産を管理するツール

② プロダクトが複数のユーザーの使用を前提にしている

ex.) マッチングサービス、SNS、コンテンツ検索発信サービス

▼ ①「プロダクトが一人のユーザー内で完結する」場合

課題解決のためにどのような機能が欲しいか



欲しい機能を実現できる技術でbest, better なものは何か調査



システムの設計を進めながら採用する技術を緩やかに決めていく (おすすめ本:『Clean Architecture 達人に学ぶソフトウェアの構造と設計』)

自分の技術スタックと相談しない ...!



▼ ②「プロダクトが複数のユーザーの使用を前提にしている」場合



本当に複数ユーザーの
使用必須ですか！！？

▼ ②「プロダクトが複数のユーザーの使用を前提にしている」場合

①「プロダクトが一人のユーザー内で完結する」+ α が必要

- ・初期ユーザーの確保
- ・競合サービスからのスイッチングコストを払わせる動機付け

➡ **より高度なマーケティング、プロモーション戦略が必要！！！！**

- ・サービスの維持運営コストの負担大きい
- ・ユーザーの情報を預かるため、リスク大きい

➡ **心理的・金銭面の負担倍増！！！！**

- ・規模が大きくなりやすい

おすすめ



①でユーザーが獲得できたら、②に移行する

Step3. 開発

とにかく作れ！！！！

「技術がない？」「勉強になるね！！！」

「時間がない？」「寝るの暇そうだね！」

「モチベない？」「やめたっていいよ！」



Step4. プロモーション

✦ 第一印象がプロダクトの価値を印象付ける

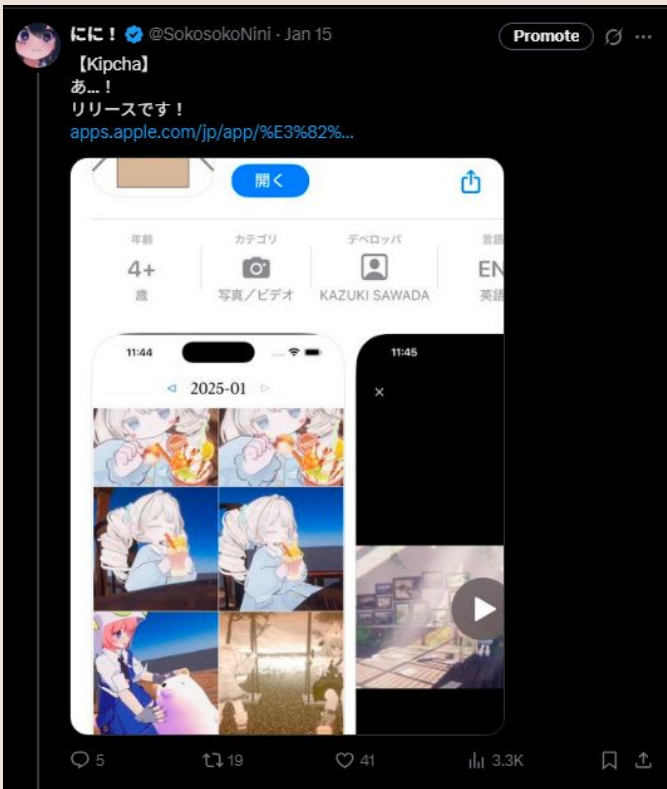
多くのユーザーは文章を読まない

プロダクトの価値は、ぱっと見の印象と流し読みされたテキストで判断されてしまう

ポスター、PVなどビジュアル系の製作は面倒だしやりたくないと思うが、あなたが面倒だと思うことは他の人も面倒だと思っていて手が抜かれがちなので、やるだけで相対的に飛び出られる

面倒だと思うことは **チャンス** なので積極的にやろう

デザインリニューアル前後で反応の比較(告知ポスト)



いいね:41
RP:19
Imp:3,300



いいね:6,700
RP:2,100
Imp:551,000

デザインリニューアル前後で反応の比較(VRChat通知BOT)

VRChat通知Bot - Booth/VKet @VRChat_Bott · Jan 7

【きぶちゃ Kipcha】 (ベータ版)
作者: にこさん
カテゴリ: ソフトウェア

種類:
支援用1 (内容物は変わりません) - 300円
支援用2 (内容物は変わりません) - 500円 booth.pm/ja/items/64601...



VRC の写真を
iPhone に自動転送

13 50 3K

いいね: 50
RP: 13
Imp: 3,000

VRChat通知Bot - Booth/VKet @VRChat_Bott · Mar 16

【VRChat専用スマホアプリ】 キブチャ - Kipcha
作者: にこさん
カテゴリ: ソフトウェア

種類:
無料 - 0円
ご支援 - 100円 booth.pm/ja/items/65628...



Kipcha

VRChat で撮影した写真を
自動転送、簡単共有

無料で利用可能

1 452 1.6K 92K

いいね: 1,600
RP: 452
Imp: 92,000

📶 自身に発信力がないなら、他の人の力を借りよう！

発信力のある人にただお願いするのは**NG**

発信してくれる人にメリットをちゃんと提示し、必ず **win-win** になるような状況にしてお願ひする

VRChat 関連の商品なら下記はハードルが低いので利用するとよいかも

- ・VRChat通知Bot - Booth/VKet (@VRChat_Bott)
- ・バーチャルライフマガジンさんの記事寄稿



Step5. FB回収 & 修正

FBは自主的に回収しにくい

ほとんどのユーザーは不具合や要望があっても報告してくれないので、自分からもらいにいこう
エゴサは積極的にしよう

FBを全てをそのまま反映する必要はない

要望通りの実装をしたらユーザーが満足するとは限らない

 **ユーザーは自身の欲しいものを正確には把握してない**

「Step.1 の課題の発見」と同様に、**要望**から本当の**課題**を特定してから、実装に移る

Tipsまとめ

- ・課題の当事者となる、なれるまでヒアリングする
- ・ユーザーは欲しいものを把握していない
- ・面倒なことは皆さぼりがちなので、やるだけで飛び出せる
- ・ユーザーは怠惰な前提で作る
- ・不具合の発信してくれる人は大事にする
- ・個人的なポストでもポジティブな発信を心がける

- ・ポジティブな発信してくれる人はとても大事にする
- ・協力、支援してくださる方は死ぬほど大事にする

プロダクトのイメージは「**プロダクトと製作者の発信**」+「**ユーザーの発信**」で形成される。
前者はコントロールできるが、後者はコントロールできない ... !

連絡先

個人開発やサービス運営の興味や相談事等
お気軽にご連絡ください〜👋

- Twitter (X): @SokosokoNini
- VRChat: にに！！

